



ファーストフード店

チーズバーガーをお願いします

対象は高校の初級レベルの日本語クラスで、日本の洋食文化をテーマにしている。このレッスンプランは週5回の授業の最初の授業のためのもので、日本の洋食レストランやファーストフード店や喫茶店での注文の仕方について勉強する。生徒は、日本の洋食レストランや喫茶店のメニューで、アメリカと同じもの、似ているもの、異なるものなどを調べる。



加納洋子
Kanō Yōko

ニューハノーバー高校
(米國、カロライナ州)

目的

言語面の目的

日本のファーストフード店や喫茶店のメニューを読めるようになる。
かたかなを読めるようになる。
ファーストフード店や喫茶店で注文できるようになる。
数を数えることができるようになる。

学習する機能	学習する表現	学習する語彙
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 聞く ❖ 話す ❖ 読む 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ ~はあります ❖ これ(あれ)はなんですか ❖ ~をおねがいします ❖ すみません(が)、~ 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 数 ❖ かたかなの食品名 ❖ 円 ❖ 売り切れ

文化面の目的

日本ではどのような外国の食べ物を取り入れているか、また、アメリカの場合はどうか、さらにアメリカの外食産業が日本でいかに成功を収めているかを教える。これを通じてコーンピザやフライドチキンピザのような自宅でも作れる料理の組み合わせを考える。

LESSON PLAN

用意するもの

日本のファーストフード店の広告やメニュー*
 (もしなければ、日本の料理やレストラン
 に関する本を使っていい)
 円とドルの換算に使う為替レートの資料
 レストランで注文するときの会話例のプリント

授業の進め方

1. 導入 (5分)

今日の学習表現「～はあります」「～をおねがいします」を導入。さらに、日本でもファーストフード店が多いことを紹介する。下記の会話練習をしてから、ビデオ教材を見せる。視覚教材を使う場合は、メニューや広告の内容に生徒の関心が向いてしまうこともあるので、最初に会話練習をした方がよい。

今日の会話(ファーストフード店で)

客： すみません。チキンバーガーはありますか。
 店員： すみません。売り切れです。
 客： じゃあ、チーズバーガーはありますか。
 店員： はい、あります。
 客： じゃあ、チーズバーガーをおねがいします。
 店員： はい、ありがとうございます。220円です。

2. 会話練習 (5分)

教師と会話練習をさせた後、ペアで練習させる(かたかなで学習済みのチーズバーガー、フィッシュバーガー、コカコーラ、コーヒーなど、会話に出てくる単語を確認するために、視覚教材を使うとよい)。

3. 広告やメニューを見せる (5分)

生徒に日本のメニューや広告を見せ、アメリカにもあるファーストフード店の日本店の例を紹介する。

教師： 日本のファーストフード店です。これはなん(のレストラン)ですか。わかりますか。
 生徒： マクドナルドです。

4. メニューを調べ、注文の仕方を練習する (15分)

グループかペアでメニューや広告を読ませ、自国のファーストフード店と同一または類似のもの、異なるものは何か、話し合わせる。グループは3人以内にし、メンバー全員が一緒にメニューを見られるようにする。大人数のクラスの場合は、カラーコピーしたメニューを使う。生徒には、後でファーストフード店の注文のロールプレイをすることを言っておく。教師は教室を回り、グループごとにメニューの説明や読み方を適宜指導する。その時には「これ、なんで

すか」「すみません。これ、よんでください」などの表現を使って質問させるようにする。また、「焼きおにぎり」「お茶」「烏龍茶」「照り焼き」「海苔」など、漢字の入った言葉は日本や中国独自のメニューであることを知らせるようにする。

5. 発表 (10分)

グループ/ペアごとに、メニューにどんなものが載っていたか、発表させる。

6. ロールプレイ (13分)

教師が店員役を演じ、生徒から注文をとる。メニューに全部目を通す時間がなく、また注文に時間がかかりすぎると他の生徒を待たせることになるので、日本でも注文できそうなものと考えておいて注文するように指示する。私のクラスでは、OHPを使ってファーストフード店のメニューを映し、店の雰囲気を出すようにしている。何人かの生徒は必ず「フレンチフライ」と注文するので、その場合は「え、なんですか。すみません、わかりません」と言って、生徒が何を注文したいのか分からないふりをする。そうすると、「フレンチフライ」をあきらめて何か他のものを注文する。ロールプレイの後で「フレンチフライ」は(日本では)「フライドポテト」ということを説明する。生徒たちは、違ったネーミングや日本語読みの英語の発音に興味を示す。よくできる生徒を何人か選んでロールプレイをさせ、他の生徒に聞かせて、何を注文したか、いくらだったか、メモをとらせる。その週は、「ぜんぶでいくらですか」「それだけです」「のみものはいかがですか」「いいです/いいえ、けっこうです」などの応用表現も導入して、この注文の会話をさらに練習させる。

フィッシュバーガーを注文した生徒が「Tartar sauceおねがいします」と言ったので、私は「タルタルソースですね」と答えた。彼は少し考えた後で「はい。そうです」と言った。私は彼が「おねがいします」を使ったことに感銘し、彼は日本でタルタルソースが買えることに感動していた。

7. 宿題の説明 (2分)

宿題として、交換留学生や近所の人、教師など、外国の出身者や外国に行ったり住んだことのある人にその国にどんなファーストフード店があるか、アメリカと同じファーストフード店があるか、ある場合は、同じ料理、似た料理はどんなものがあるか、異なる料理があるか、どんな調味料がいちばん一般的か、などについてインタビューさせる。そして次の授業で、インタビューの内容を生徒に発表させる。

8. 評価方法

- ❖ 口頭テスト
- ❖ 数(値段) 注文の聞き取りテスト
- ❖ メニューをかたかなで書かせる

生徒の反応

日本にも(アメリカと)似た食べ物がたくさんある。日本人はいつも寿司や刺身ばかり食べているわけではない。

日本人は、ピザやハンバーガーのようなアメリカの食べ物が好きだ。

(日本の)ピザには全部コーン(とうもろこし)が入っている(多くの生徒はそれが気に入ったようだ)。

魚介類や海苔、カレー、卵、ステーキ、照り焼きチキンのピザがある。

「照り焼き」など、アメリカ料理にも日本料理がいくつ取り入れられている(「照り焼き」が日本語だと知らなかった生徒が何人かいた)。

日本人は、ピザにいろいろな食材(少なくとも5種類)を使っている。

日本人が英語を取り入れて、日本独自の英語(かたかな語)を作り出しているのは、面白い。

アメリカンピザ、コンビネーションピザ、ロイヤルピザ、カリフォルニアピザなど、おかしなネーミングがある。類似/同一の食品でも、違う名前がついている。例えば、orange juiceはオレンジドリンク、など。

KFC(ケンタッキーフライドチキン)では、おにぎりを売っている。

ある店(モスバーガー)では、ご飯をパンの代わりにして、日本の伝統的な食材を使ったハンバーガーもどきを売っている。例えば、きんぴらバーガーなど。マクドナルドには照り焼き味のバーガーがある。

ファーストフード店で割引券などクーポンを配っていて、なかなかいい高価なものをプレゼントとしてももらえることもある。

抹茶味のケーキがある!

レストランや喫茶店のデザートはおいしそうだ。

マクドナルドやKFCのような店では、新聞にクーポン付の折込広告を入れている。

値段の高いものもあるが、あとはだいたい同じくらいだ。

生徒は、(日本とアメリカの)食文化の違いや共通点をいろいろ見つけ出してくる。また、日本の広告やメニューを読めるようになったことがうれしいようで、中には、日本の雑誌や漫画、アニメのCDやビデオなどを教室に持ってきて、自分がそうしたものを読めるということを書いてくる生徒もいる。ある生徒は、ニューヨークの博物館に行ってきた後、かたかなの標示やポスターが読めたと興奮して、話してくれた。

感想

私はこの授業で、日本のファーストフード店のメニューにはなくて、アメリカの同系列の店のメニューにあるものを見つけることに重きを置いたわけではない。メニューの違いが文化のためなのか、他の要因なのかを判断することはなかなかむずかしいが、そのことは、ペアやグループでの話し合いの中でいろいろ出てきた。例えば、「どうして日本にはチーズだけのプレーンピザがないのか」というようなことである。アメリカでは、チーズのプレーンピザは昔から定番だが、さらにこのことから「日本人はどうして、いろいろな種類の具が載ったカラフルなピザを好むのか」という興味深い議論が始まった。私は生徒たちに、やはりいろいろなおかずの入ったカラフルな日本の弁当の広告を見せたところ、ある生徒は、食べ物の色がカラフルなほど、人は早く食べるという話を読んだことがあると話してくれた。また、店の規模や高い店賃や、日本のレストランは客の入れ替えを早くして利益を上げるためにいかに早く料理を出さなければならないか、などということについても議論することができた。料理の皿にいろいろな色の食材があるということだとはいろいろな栄養素の食べ物があるということだと指摘した生徒もいる。これはまた、味や調味料の好みについて考えさせる、いい機会でもある。例えば、米国の南部の人はピネガー(酢)を好んで使うとか、アメリカでも地域ごとに味の好みが違うというようなことである。

文化理解と外国語学習について

異文化を受け入れる心を育てたい

生徒が日本語を勉強しようとする動機はさまざまだ。例えば、「日本人の親類がいる」「日本のアニメが好きだ」「武術を習っている」「将来の仕事のため」「何だかカッコいい、人とは違ったものに挑戦してみたい」「授業履修のカウンセラーに勧められた」などなど。私が日本語を教える目的は、生徒たちが親切で寛大で心の広い、他人に対して思いやりをもてる人間に育つように手助けをしたいからである。そして、生徒の関心や学習動機をレッスンプランに反映させ、生徒が勉強への興味や意欲をおこし、友人や家族にも話したくなるような興味深い事柄を取り上げるように努力している。この授業はこうした目的のために考えたもので、今回の授業は、日本の伝統料理を紹介するときにも活用できる。その時には、生徒たちもひらがなや漢字もいくつか分かるようになっていだろう(ひらがなや漢字で書かれたメニューが全部読めなくても、生徒たちは日本の料理を注文できるのだが)。

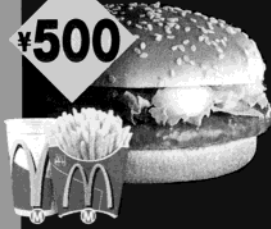

なんとか資金をためて、クラスの生徒全員で日本食を食べに日本レストランに行く。中には「まずいよ」と言って行きたくない生徒もいる。和食レストランや日本食と聞くと、彼らはすぐに寿司や刺身などなじみのない変わったものをすぐに思いがちなのだ。自分たちが(アメリカで)食べているようなものを、日本人も日本でい

ろいる食べているということが分かれば、和食レストランにも自分たちの好きなものがあるかもしれないと、生徒たちは考え始める。「まずいよ」と言っていた生徒でさえ、閉じこもっていた殻から出てくるようになり、コーン入りのピザもいいかもなあと思うようになる。こうなってくると、彼らも異文化の習慣や考え方を受け入れたり、順応しようとしたりするようになる。日本のレストランに何度か行って、クラスメートが寿司を食べているのを見ているうちに、ちょっとだけ食べてみようかなという気になってくるかもしれない。やっぱり好きじゃないと言ったとしても、大事なことは「まずい」と言う代わりに少しでも食べてみたということだ。彼らもいつか、私が「目や耳で食べるのではなく、口で食べるものなのだ」と言った意味を理解するようになるだろう。私は、生徒たちが外国のいろいろなものに触れるように努めているが、教師自身も生徒から何かしら有益なものを学んでいると思う。このようにして、生徒たちは自分の視野を広げ、一生涯学んでいける人間になっていく。生徒が変わっていくのを見、善良な社会の一員へと成長していく手助けができるのはうれしいことだ。春秋に富む生徒たちにとって、日本語を学ぶことは、成長するためのすばらしい手段である。

講評

生徒の国と日本の両方にあるファーストフード店の研究の補足として、日本独自のファーストフード店について調べてみるのも面白いかもしれない。このレッスンプランでは、欧米式のレストランに焦点を当てているが、立ち食いそば屋やカレーショップ、寿司屋を取り上げてもいいだろう。かたかなの練習にはあまりならないだろうが、こうした店のメニューは、生徒の間で議論の盛り上がる材料になるだろう。このレッスンプランには述べられていないが、ファーストフード店の「役割」について考えてみるのも価値のあることだ。食習慣が悪化し、人びとが外食することが多くなり、栄養のあるものを食べなくなってきたといわれている今日、このことは私たちが属する社会にとってどういうことを意味しているのだろうか。

パントリーセット

<p>Double Burger Set ダブルバーガーセット</p> <p>¥500</p> 	<p>Teriyaki McBurger Set てりやきマックバーガーセット</p> <p>¥500</p> 	<p>Big Mac Set ビッグマックセット</p> <p>¥600</p> 	<p>L・Lセット (¥500セットのみ) プラス ¥50 で。</p> <p>L</p> 
<p>Double Cheese Burger Set ダブルチーズバーガーセット</p> <p>¥500</p> 	<p>Filet-O-Fish Set フィレオフィッシュセット</p> <p>¥500</p> 	<p>Chicken Tatsuta Set チキンタツタセット</p> <p>¥600</p> 	

<p>Hamburger Set ハンバーガーセット</p> <p>¥400</p> 	<p>Cheese Burger Set チーズバーガーセット</p> <p>¥400</p> 	<p>マクドナルド ハッピーセット</p> <p>ハンバーガーセットまたは チーズバーガーセット</p> <p>¥400</p> <p>おもちゃ ひとつ</p> 	<p>マクドナルド ハッピーセット</p> <p>チキンマックナゲットセット</p> <p>¥400</p> <p>おもちゃ ひとつ</p> 
---	--	--	---

●ハッピーセットのミニドリンクは、コカ・コーラ、スプライト、ファンタ、オレンジジュースからお選びください。

レギュラーメニュー

ハンバーガー ¥130 Hamburger	ダブルバーガー ¥240 Double Burger	フィレオフィッシュ ¥240 Filet-O-Fish	チキンタツタ ¥280 Chicken Tatsuta
チーズバーガー ¥160 Cheese Burger	ダブルチーズバーガー ¥270 Double Cheese Burger	てりやきマックバーガー ¥190 Teriyaki McBurger	ビッグマック ¥280 Big Mac

 <p>マックフライポテト S ¥150 L ¥290 M ¥240</p>	 <p>チキンマックナゲット 16個 ¥780 9個 ¥460 5個 ¥280</p>	 <p>ベーコンポテトパイ ¥150 ホットアップルパイ ¥150</p>	 <p>マックシェイク ¥220 パナ、ストロベリー、チョコレート</p>	 <p>アイスクリーム ¥120 パナ、モカ</p>	 <p>カスタードプリン ¥120</p>
--	---	--	--	--	---

冷たいお飲みもの

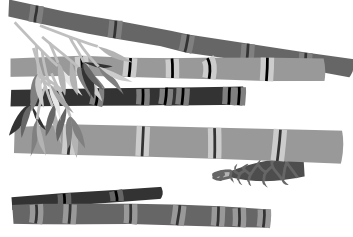
コカ・コーラ Coca-Cola	L	M	S
	¥200	¥170	¥140
ファンタ/スプライト Fanta / Sprite			
アイスティー Iced Tea	¥210	¥180	¥150
アイスウーロン茶 Iced Oolong Tea	¥210	¥180	¥150
オレンジジュース Orange Juice	¥230	¥200	¥170
アイスコーヒー Iced Coffee	¥230	¥200	¥170

温かいお飲みもの

ホットコーヒー Hot Coffee	¥180
コーンポタージュスープ Corn Potage Soup	¥180
ホットチョコレート Hot Chocolate (老舗のみ販売)	¥180
ホットウーロン茶 Hot Oolong Tea	¥140
ホットティー Hot Tea	¥180

マックカード(商品券) ¥500

そばがき

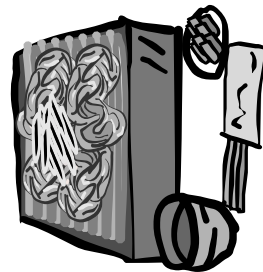


● そば・うどんの部

もり		五〇〇円
かけ		五〇〇円
きつね		六〇〇円
たぬき		六〇〇円
ざるそば		七〇〇円
天ざる (並)	一	〇〇〇円
天ざる (上)	一	三五〇円
月見そば		七〇〇円
カレー南ばん		七五〇円
とろろそば		八五〇円

● ごはんの部

天丼 (並)		九五〇円
天丼 (上)	一	四五〇円
カツ丼		八三〇円
親子丼		八三〇円
カレーライス		六五〇円



そば ちびるな

電話 〇三 (五二三) 四五六七
火曜定休日